

H O YOG

教区新報

発行所 浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6丁目3番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
(編集) 教区基推委広報部

1995. 3. 87号



神戸中組 西方寺で避難者にお言葉をかけるご門主

阪神大震災から一カ月。やっと街も人も当初に比べれば、落ち着きを取り戻しつつある二月十七日。即ちご門主が被災地をお見舞い巡回された。随行は武野総務、片山内事部長、長岡社

ご門主被災の18カ寺お見舞

「一日も早い復興を」

をとお見舞いしたいという意向のもと、電車を乗り継ぎ、タクシーを待機させたり、災害の状況を視察されながら、また神戸市内から本山の法輪号を待機させたりといういろいろな手段を整えてご巡回された。

J R京都駅から梅田へ。そこから阪神電車で大物駅へ。まず、阪神南組常念寺(瑞穂光信住職)、西教寺

（生嶮俊興住職）、常性寺（楠照眞住職）をお見舞い。J R尼崎駅からJ R西宮駅へ。阪神西組西福寺（豊原大成住職）へ。そしてJ R摂津本山駅で待機の法輪号二台で神戸東組西林寺（藤川正敏住職）、覚浄寺（淵邊一雄住職）、妙善寺（上田泰朗住職）へ。そして神戸中組専称寺（豊原大乗住職）、法専寺（丸橋一清住職）と述べられた。

本堂でお焼香の後、一億円の義援金の伝達が行われ、ご門主より「本日、こうしてお見舞いに伺いました。被災地は想像を遙かに越える状況であり、ともに歩む宗門であることを心に止めて歩ませてください。心のつながりをひろげていただきまして、一日も早い再建・復興の道を歩んでいただきますよう念じます」と述べられた。



煩惱具足の凡夫だから。と分った様な事を言いながら他人には潔癖に生きる事を期待している。葬式の「仕上げの膳」の料理代支払いを他の借金払いに回すと言う、どん底でも「見得」を張ってしか生きられぬ人の苦しみが分かるか。しかも自らは霞を喰っては生きられぬと「教え」も満足に説かず忙しい忙しいとゴルフでカラオケだと明け暮れている。ほとんどの僧侶は詐欺師と変わらぬのではないか。すさまじい批判と出合った◆人の批判に聖域がなくなると、一国の総理大臣が一夜明ければ罪人として追求されるのは序の口で、英国の王室日本の皇室も週刊誌の材料にされる昨今。すべての批判の中では本質が問われている。他人事ではない。上意下達式の宗門の組織や機構又、門信徒の苦しみや悩みを受けとめられない僧侶や寺院も今、本質が問われている◆「散骨」と言う無墓・無葬式・無宗教の人々が主流となる日が近づいている。噫・・・イノベーション (藤澤大紀)

日	時間	内容	場所
2日(木)	1時半	布教団役員会	
3日(金)	1時半	社推協兵庫支部常任委員会	
4日(土)	1時半	第一土曜仏教講座 藤 大慶師 阪神大震災犠牲者追悼法要	神戸西組信行寺
5日(日)	大谷本廟	永代経開闢法要	
6日(月)	10時半	基推委企画常任委員会	
7日(火)	1時半	別院仏婦定例法座 宮里哲秀師	
7日(火)~8日(水)		豊岡教堂永代経法要	豊岡教堂
8日(水)~9日(木)		ご巡教	新宮組
11日(土)		阪神淡路大震災物故者総追悼法要	淡路組宣徳寺
14日(火)~16日(木)		別院常例法座 葦原正春師	1時半
17日(金)	10時半	災害対策常任委員会	
18日(土)~19日(日)	1	災害対策委員会	本山
20日(月)~22日(水)		門徒推進員代表者協議会	1時半
24日(金)		別院春季彼岸会	本山
28日(火)	10時半	阪神大震災物故者総追悼法要	
4月1日(土)	10時半	仏婦委員総会	
2日(日)	1時半	第一土曜仏教講座	
2日(日)		永代経開闢法要	大谷本廟
12日(水)~13日(木)		輪番・主管・教区基推委会長研修会	本山



地震から工事が中断している現場

建設工事進捗状況
本願寺神戸別院改築
兵庫教区教化センター設立

現況
四階躯体建込中で二月十七日より地下一階及び一階二階の仕上工事に着手の予定であったが、地震発生以来、ライフラインの中断、労務者の被災等により工事を中断している。その間中村建築設計事務所・戸田建設において四回にわたり詳細な調査の結果、地震の被害は皆無との報告があった。予定
工事再開と工程については、三月初めに工程を改めて協議。
建設志進納総額
十五億百六十三万
二千四百九十九円
(95年2月28日現在)

敬吊

小山みちえさん(こやま みちえ) 水西組光安寺前坊守) 一月一日、八十九才で往生。葬儀は一月四日、光安寺で。「慈念院釋尼貞華」。

長澤田鶴子さん(ながさわ たづこ) 阪神東組覚円寺前坊守) 一月四日、八十才で往生。葬儀は一月七日、覚円寺で。「浄蓮院釋尼樂勝」。

生嶮テルさん(いくしま てる) 阪神南組西教寺前坊守) 一月九日、八十三才で往生。葬儀は一月十一日、西教寺で。「浄詠院釋尼妙俊」。

森 美代子さん(もり みよこ) 岡山北組法眼寺前坊守) 一月十七日、八十才で往生。葬儀は一月十八日、法眼寺で。「浄光院釋尼願船」。

楠 誓隆師(くすのき せいりゅう) 神戸湊組廣福寺住職) 一月二十六日、八十才で往生。葬儀は一月二十九日、廣福寺で。「弘願院釋誓隆」。昭和十九年から住職在職五十年。その間昭和四十八年から副組長三年。同六十年から六十一年

まで組長を務めた。「円融廣澤竹子さん(ひろさわ たく) 阪神北組最徳寺前坊守) 二月五日、八十一才で往生。葬儀は二月七日、最徳寺で。「染光院釋尼浄華」。

平原とみさん(ひらはら とみ) 北撰組寶泉寺前坊守) 二月十五日、八十三才で往生。葬儀は二月十八日、寶泉寺で。「寶珠院釋尼月泉」。

佐々木弘子さん(ささき ひろこ) 阪神西組廣宣寺衆徒) 二月十九日、七十六才で往生。葬儀は二月二十一日、廣宣寺で。「弘徳院釋尼法圓」。

廣田宣子さん(ひろた 宣子) 岡山南組教徳寺前坊守) 二月二十四日、八十七才で往生。葬儀は二月二十七日、教徳寺で。「宣流院釋尼秋蓮」。

阪神大震災で亡くなられた家族関係者

豊原大潤師(とよはら だいじゅん) 阪神西組西福寺前住職) 八十六才で往生。昭和十五年から平成五年まで住職在職五十二年。この間、昭和二十一年から同六十年まで宗会議員十一期、四十年から六十年までの間

横井 等さん(よこい ひとし) 神戸西組順照寺住職の叔父) 七十才で往生。

藤猪佐代子さん(ふじい さよこ) 神戸西組本誓寺前坊守) 七十九才で往生。

沼田宏美さん(ぬまた ひろみ) 神戸湊組光明寺住職の長女) 三十五才で往生。

沼田華奈さん(ぬまた かな) 神戸湊組光明寺住職の孫) 六才で往生。

橋本弘子さん(はしもと ひろこ) 神戸西組順照寺住職の叔母) 六十一才で往生。

上田信子さん(うえだ のぶこ) 神戸東組妙善寺住職の次女) 二十七才で往生。

山内悠里子さん(やまうち ゆりこ) 神戸東組安楽寺住職の長女) 十一才で往生。

藤猪佐代子さん(ふじい さよこ) 神戸西組本誓寺前坊守) 七十九才で往生。

沼田宏美さん(ぬまた ひろみ) 神戸湊組光明寺住職の長女) 三十五才で往生。

沼田華奈さん(ぬまた かな) 神戸湊組光明寺住職の孫) 六才で往生。

橋本弘子さん(はしもと ひろこ) 神戸西組順照寺住職の叔母) 六十一才で往生。

横井 等さん(よこい ひとし) 神戸西組順照寺住職の叔父) 七十才で往生。

総長を四回務めた。「円融院釋大潤」。

豊原幸子さん(とよはら ゆきこ) 阪神西組西福寺前坊守) 六十二才で往生。「貞賢院釋妙幸」。

豊原真利さん(とよはら まり) 阪神西組西福寺衆徒、住職の長女) 二十八才で往生。「慈孝院釋静秀」。

淵邊文子さん(ふちべ 文子) 神戸東組覚浄寺坊守) 六十五才で往生。「賢正院釋妙丈」。

上田信子さん(うえだ のぶこ) 神戸東組妙善寺住職の次女) 二十七才で往生。

山内悠里子さん(やまうち ゆりこ) 神戸東組安楽寺住職の長女) 十一才で往生。

40カ寺に救援活動

HO日誌

◆1月28日～2月2日
 よどり齋場で大阪教区有志が読経奉仕◆31日～2日
 神戸中組光尊寺の協力で大阪教区有志が骨葬読経奉仕◆31日
 寺院救援活動を阪神西組善教寺へ。大阪教区より十八人でご本尊、宮殿、仏具等を仮御堂に搬出し安置。その他生活用家具の移動◆午後から同組常宣寺へ。本堂内の整理(畳上げ)荷物配置など。本堂外の土砂・瓦など除去◆神戸東組光圓寺へ、熊本教区一人、教区内青年僧侶六人で祖師・蓮師・太子・七高僧絵像を搬出、庫裏へ書類搬出◆続いて同組福正寺へ、庫裏内より過去帳、その他書類を振り出し、衣類類を本堂へ◆同組西林寺へ、岐阜教区十人で客間とその前の中庭にシートをかける。境内の瓦を撤去◆同組善立寺へ、新潟教区八人、教区内僧侶二人で本堂一階を整備◆神戸中組浄教寺へ、北海道教区四人と教区内青年僧侶五人で礼盤一式を搬出、経卓



神戸湊組 広福寺で作業する備後の僧侶

り出し◆神戸西組善海寺へ北海道教区四人、滋賀教区二人で御本尊、御厨子(祖師・蓮師)、仏具や法衣類を搬出。午後から浄徳寺へ合流◆神戸西組現光寺へ備後教区十二人で山號額、法名軸、仏具等搬出◆引き続き同組順照寺へ。倒壊した山門の撤去。祖師・太子(絵像)仏具、遺骨搬出◆神戸西組安楽寺へ長崎教区六人で仏具、生活用品、土砂・瓦などを除去◆2日
 本願寺堺別院仏母が神戸市中央区の花隈児童公園で甘酒とあずきがゆの炊きだし◆寺院救援活動へ神戸東組覚浄寺へ東京教区九人、北海道教区四人で遺骨搬出◆神戸東組西方寺へ高岡教区三人、滋賀教区二人で倒壊した山門の瓦の整理◆神戸湊組広福寺へ山陰教区六人で家財道具を搬出◆神戸西組順照寺へ備後教区五人で蓮師・七高僧(絵像)、仏具、単車、自転車等搬出◆神戸西組徳善寺へ備後教区七人で焼失した中から貴重品等を振り出す◆3日
 教区寺院婦人会連盟が建設中の別院の前でおでん、かす



神戸西組 信行寺を見舞う松村総長

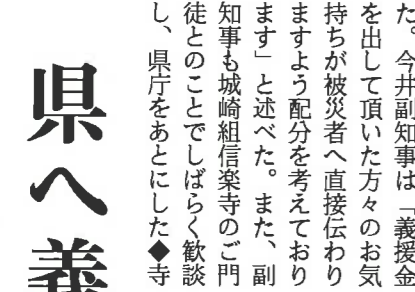


神戸西組 佛心寺での炊き出し

分かれて炊きだし◆14日
 教区災害対策委員会が教務所で。内容は(1)二月八日現在の被災寺院報告(二百五十カ寺)(2)義援金交付について①本堂全壊・全焼の三十四カ寺について見舞金五十万円を届ける②寺院死亡者について弔慰金五十万円を届ける③被害のあった寺院に對し当該組長を通じて見舞金十万円を交付する④今後の義援金交付については被災状況を充分把握しつつ対処を進める(3)ご門主被災地お見舞い巡回について(4)災害対策委員会の構成について(5)門信徒被害調査について①被災門信徒死亡者氏名・家屋倒壊・全焼による仏壇希望者報告を被災組へ依頼する②死亡された門信徒に弔慰状・お香を届ける◆教区寺院婦人会連盟が建設中の別院前で炊きだし◆寺院救援活動に宗粟組が神戸東組妙善寺へ◆15日
 教区寺院婦人会連盟が建設中の別院前で炊きだし◆赤穂北組浄光寺・仏母が神戸西組佛心寺でカレーの炊きだし◆赤穂北組仏母が神戸中組徳照寺前へ◆16日
 御命日法要を別院で◆遺体安置をしていた西光家(西光優子(13)・美子(10)さん)の葬儀を別院で寺族

祖師・七高僧)生活用品等搬出◆教区寺院婦人会連盟が建設中の別院前で炊きだし◆多可組が避難所になっている神戸西組浄行寺へ炊きだし◆10日
 神戸市東灘区の神戸商船大学へ遺体安置所となっていた三教室に於いて職員と和歌山六人で追悼修行◆教区寺院婦人会連盟が建設中の別院前で炊きだし◆11日
 神戸四組々々が来所し要望事項◆備後教区から仮事務所へユニットバスの設置◆12日
 教務所長・教区会議長・組長会長会議を教務所で◆13日
 仮事務所に水道が通じる◆寺院救援活動。神戸湊組浄徳寺へ姫路中組七人と東京一人で大齋、念珠、聖典、喚鐘等取り出す◆寺院婦人会連盟が建設中の別院前と神戸西組金楽寺前に

り出し◆神戸西組善海寺へ北海道教区四人、滋賀教区二人で御本尊、御厨子(祖師・蓮師)、仏具や法衣類を搬出。午後から浄徳寺へ合流◆神戸西組現光寺へ備後教区十二人で山號額、法名軸、仏具等搬出◆引き続き同組順照寺へ。倒壊した山門の撤去。祖師・太子(絵像)仏具、遺骨搬出◆神戸西組安楽寺へ長崎教区六人で仏具、生活用品、土砂・瓦などを除去◆2日
 本願寺堺別院仏母が神戸市中央区の花隈児童公園で甘酒とあずきがゆの炊きだし◆寺院救援活動へ神戸東組覚浄寺へ東京教区九人、北海道教区四人で遺骨搬出◆神戸東組西方寺へ高岡教区三人、滋賀教区二人で倒壊した山門の瓦の整理◆神戸湊組広福寺へ山陰教区六人で家財道具を搬出◆神戸西組順照寺へ備後教区五人で蓮師・七高僧(絵像)、仏具、単車、自転車等搬出◆神戸西組徳善寺へ備後教区七人で焼失した中から貴重品等を振り出す◆3日
 教区寺院婦人会連盟が建設中の別院の前でおでん、かす



神戸東組 妙善寺での入仏法要

要◆隣には青年僧侶の会で二軒三軒のプレハブを建て活動拠点に◆赤穂北組が須磨区妙法寺公園で炊きだし◆21日
 神明組が芦屋の精道小学校で炊きだし◆寺院救援活動に東京教区五人、安芸教区五人、鹿児島教区二人、滋賀教区二人、兵庫教区二人、山口教区一人、神戸東組福正寺へ◆22日
 神戸東組福正寺を別院で。仏母常任委員会を別院で。教区仏母連盟より五百万円の義援金を教区災害対策委員会へ伝達◆教区災害対策委員会から兵庫県へ災害義援金五千万円を伝達。当日は委員会会長の土基教務所長、副会長の田中法朗師、山本宣昭師、久堀弘義師が、県議会議員の清元功章氏の案内で県庁二号館六階にある副知事室へ。土基教務所長から今井和幸副知事へ五千万円の小切手が手渡された。今井副知事は「義援金を出して頂いた方々のお氣持が被災者へ直接伝わりますよう配分を考えております」と述べた。また、副知事も城崎組信楽寺のご門徒とのことでしたら歓迎し、県庁をあとにした◆寺



副知事に義援金を手渡す土基所長

引き続き神戸中組徳照寺へ庫裏から家財道具搬出。蔵書、蔵の整理◆神戸湊組西光寺へ備後教区九人で園内の道具を園庭と遊戯室に集めシートを掛け、庫裏から家財道具を本堂外陣へ搬出◆7日
 寺院救援活動。神戸東組妙善寺へ青年僧侶の会が機材を投入して柱、お内仏、上田家過去帳を取り出す◆神戸東組光頭寺へ四州教区六人、和歌山教区四人で喚鐘、宮殿、厨子、巻障子等の仏具と本などの家財道具を搬出◆神戸西組金楽寺へ備後教区八人、山口教区十人で瓦礫の搬出し◆7日
 法衣の取り出し◆7日
 8日
 阪神西組萬照寺へ山陰教区七人、大阪教区六人で仏具を庫裏へ移動。小屋造り◆8日
 神明組と赤穂北組が神戸西組佛心寺前で炊きだし◆仏教婦人会総連盟(堤昭子会長)から教区仏教婦人会連盟(木村久子委員長)への災害見舞金一千万円の目録を土基教務所長へ伝達。その後神戸西組佛心寺へ炊きだしの手伝い◆北摂組浄光寺が神戸東組西林寺で炊きだし◆9日
 寺院救援活動。神戸東組安楽寺へ備後教区六人、和歌山教区四人で遺骨四十体打敷、仏具、絵像(太子・

県へ義援金五千万円

大震災義援金 (2月28日現在) 教区別分

総額	88,883,379円
各教区・その他	63,568,594円
教区内各組・寺院	25,314,785円

(本山分は含まず)